

祝 辞

本日、ここ海上自衛隊 第1術科学校大講堂において、第百三十六期幹部予定者課程の入校式が、厳粛に挙行されるに当たり、地元、江田島市民を代表して、お祝いの御挨拶を申し上げます。

幹部予定者課程に御入校の皆様、本日は、誠におめでとうございます。

皆様は、これまで各部隊の最前線で多くの経験を積み重ね、そのキャリアと高い能力を認められ、晴れて幹部予定者課程に入校されました。そのような皆様をお迎えできることは、江田島市として大きな喜びであり、心から歓迎を申し上げます。

さて、我が国周辺に目を向けますと、ロシアによるウクライナへの軍事侵攻の長期化や中国軍による領海侵入など、我が国を取り巻く安全保障環境は、一層厳しさを増しております。こうした状況下、国民の安全と平和を守るために、海上自衛隊の役割はますます重要になっております

これから皆様は、指揮官となるべく、ここ江田島市の地で約四か月間、厳しい訓練に臨むこととなります。知識と技術を磨き、「心・技・体」を備えた立派な自衛官となることを期待しております。

皆様、御存知のとおり、ここ江田島市は、明治の時代に海軍兵学校が東京築地から移転し、その後、昭和三十一年に海上自衛隊をお迎えして以降、長きに渡り、海上自衛隊の皆様との縁や絆を大切に育んできた地でございます。

また、四季折々の美しい自然に囲まれ、秀峰古鷹を望む風光明媚な瀬戸の島として親しまれております。

厳しい訓練の合間には、人情に触れ、自然に触れ、島の魅力を存分に楽しんでいただき、これまで先人たちが築いてきた江田島市との縁や絆を深めながら、思い出深い学生生活を送っていただきたいと思います。

そして、ここ江田島市での皆様の生活が、実りある、充実したものになることを、強く願っております。

結びになります。日本国の繁栄、海上自衛隊の益々の御隆盛、御発展、そして本日御参会の全ての皆様の御健勝と更なる御活躍を、心よりお祈り申し上げ、お祝いの言葉とさせていただきます。

令和七年二月二十一日

江田島市長 土手 三生